

相談支援つうしん

<第 88 号>2023 年 3 月 24 日
県立湘南養護学校 支援連携部
相談支援係 ~教師編~

〈PECS に挑戦〉

学校や学部の研修で PECS の研修を受けたので、わからないなりに実践しました！

好きなものが見つければ、PECS はスタートできるといわれています。その好きなものを要求することから取り組むということで、児童の好きな給食から始めました。取り組んでみると、自分でメニューカードを選び、教員へ「〇〇 ください」と二語文で伝えられるようになりました。この児童は、左端に貼られているカードばかり取る様子が見られたので、左側に本人の苦手なメニューカードを置きました。自分の苦手なメニューが連続で来ることがわかると、カードをよく見て選ぶようになりました。発語はなく、カードコミュニケーション自体が初めてで、年度初めは写真カードを見せると指差しするだけでした。カードを選べられるようになったり、見る力がついたりしたりしたことにとても成長を感じました。今はあらかじめ「ください」カードが貼られたバーの横にメニューカードを貼っています。今後は、「ください」カードも自分でバーに貼れるようになったり、お願いする先生を加えた 3 語文にしたりと発展させていければと思っています。

給食以外の場面でも、欲しいものがあるときに「〇〇ください」と 2 語文で伝えられるようにしていき、色々な場面で使えるようにしていきたいです。

PECS を実際に取り組んでみて、まだ限定的な場面ですが子どもから意思表示する姿はとてもすばらしいと思いました。他の先生と話していた時に「何かしら子どもからの発信手段があることは、生きていくためには必要だよ」という言葉が深く心に刺さり、今取り組んでいることが、意味のあることだと感じました。

支援グッズ紹介

今回紹介するのは、バランスボードです。両足を乗せてバランスをとるシンプルな道具ですが、体幹強化・筋力アップに効果があるといわれています。その他前庭感覚（揺れや傾きの感覚）を入力したい子どもにとっても好まれるグッズです。

手を机などに添え置き、足の左右の踏み込む力を変えることで、体重移動を行うことができます。

不安定なボードに乗ることで、ゆらゆら揺れる感覚や落ちないようにするスリルが楽しいようです。楽しく遊び感覚で鍛えられるというのもポイントかもしれません。動作や運動が苦手、動作が器用でないお子さんの表情も明るくなっていくようです。ぜひ、ご活用ください。

〈湘南養護学校アセスメント編…！！！！〉

いよいよ年度末になりましたね！！！！1年のまとめと次年度への引き継ぎを考えたときに、果たしてこの1年で児童生徒のどんな力がどのくらい伸びたのか、来年度はどのような学習課題を設定し引き継いでいけばよいのか、ということに頭を悩ませる先生もいらっしゃるかもしれません。湘南養護学校では、できる限り客観的な指標（検査）を各学部で設定して、児童生徒の実態把握や指導に活かしています。他学部がどんなアセスメントをしているのかを知る機会、中々ないですよね…👀

小学部 → NCプログラム

中学部 → 太田ステージ

高等部 → S-M 社会生活能力検査

湘南養護学校では、各学部がこんなアセスメントをしています。年度の変わり目は、児童生徒も不安定になったり、教員の顔ぶれも変わったりしてなんだかドタバタする時期…。進級して新たな学年がスタートした時に、検査のアセスメント結果が手元にあるとこんないいことがあるかと思えます！

☆ 検査を用いたアセスメントは、これから行うべき学習内容を明確にしてくれる！

☆ 子どもの成長に表れる指導の効果を実感しやすくなり、教員の動機づけも高めてくれる！

☆ アセスメント結果を引き継ぐと、担任が変わっても実態の捉えがぶれにくく教材研究しやすい！

特に、3番目の引き継ぎに関していうと、主観的な印象ではなく客観的な指標に基づくので、例えば、何がどのように“できる”といったことが共有しやすくなります。加えて、太田ステージやNCプログラムなどでは、いわば“教材フォルダ”が準備されており、その中から辞書的に学習課題を検索することができます。そして、そこから児童生徒の実態に合わせて教材研究をしていくことができます。みなさん、年度末のとってもお忙しい時期ですが、次年度に向けて少しずつ引き継ぎの用意をしていかないと…ですね！

相談カード（教員用） 記入日 令和 年 月 日

対象児童生徒 小・中・高 年 氏名（イニシャル）

1. どのようなご相談ですか？（○をつけてください）

①行動面について ②学習面について ③コミュニケーションについて

④運動面について ⑤家庭に関すること ⑥その他（ ）

2. 困っていることは何ですか？

3. 今後どのような方法をご希望ですか？

①情報提供 ②アドバイス ③ケース会 ④外部専門職との連携

⑤道具の工夫環境調整 ⑥その他（ ）

担任→相談支援係へ提出をお願いします。